

リイ
シリ

08

2025 Mail →

利尻町立博物館

Tel. 0163-85-1411



るなか、宗谷地方の戦争の記録・体験を次の世代に伝え、復興に立ち上がる地域の人びとの姿を、本展示から少しでも感じ取ってもらえれば幸いに思います。

宗 谷管内巡回展「宗谷の昭和 100 年－戦争の時代から復興へ－」【会場】利尻町立博物館ロビー。【期間】8/1 (金)～9/30 (火)。【主催】宗谷管内学芸職員連絡協議会・稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町・枝幸町各教育委員会。【後援】北海道開発局稚内開発建設部地域連携課。



博 物館資料を仙中に見にいこう！～旧仙中校舎保管資料見学とボランティア活動【日時】8/16 (土) 9:30～11:00。雨天決行します（その場合、屋内作業のみを予定）【集合】9:30に旧仙法志中学校駐車場に集合。【申込】博物館に、(1) 氏名、(2) 当日の連絡先電話番号とともに申し込み。先着 10 名前後。申し込みは前日 (8/15・金) まで。【当日の流れ】オリエンテーション（仙法志中学校の概要や古い写真などの紹介）→保管中の資料見学（漁具・民具・閉校校舎資料など）→思い出資料室の見学→ボランティア活動（資料整理・清掃・環境美化、などを予定）。【持ち物】清掃・環境美化ボランティア活動などに関する道具は当館でご用意いたしますが、埃をかぶったり、屋外作業もあるため、希望者は軍手や清掃に適した服装も考慮してご参加ください！

巡回展・戦争の時代から復興へ
01 AUG ↓ 30 SEP
今年、太平洋戦争終戦から 80 年、そして「昭和 100 年」の節目の年にあたります。そこで、宗谷管内学芸職員連絡協議会では、「昭和 100 年」のあゆみのうち、我が国の近代史の大きな転機となった戦時中から戦後復興にかけての時期に焦点をあて、宗谷地方の人びとが体験した「戦争」と、その後の暮らしの再生をテーマとした巡回展を開催することとしました。戦後 80 年が経過し、戦争の記憶がしだいにうすれつつあ

仙中見学とお掃除ボランティア

16

博 物館には膨大な資料が置かれていましたが、整理するためのスペースがなかなか取れませんでした。しかし、2019 年 3 月から旧仙法志中学校校舎を資料の仮保存区画として再利用させていただくこととなり、整理と収納が一気に前に進み始めました。おかげで現在ではおよそ 16 万点の資料の登録が済み、教室ごとにさまざまな資料の集約が進んでいます。

本 事業では、これらの日頃展示されていない資料を見ていただく他、元々設置されていた仙法志中学校の資料室などの見学も行い、懐かしい校舎の雰囲気味わっていただきます。また、後半では、この思い出深い校舎の清掃や、資料の整理などのボランティア活動も行っていただくことで、末長く、本校舎を維持していくことにご協力いただければと思っています。かつての仙中生はもちろん、卒業生でなくても、廃校になった校舎には入れる機会は滅多にありませんので、生徒だった頃の自分を今一度思い出す機会のひとつとしてご活用いただければ幸いです。

令和 7 年度 宗谷管内巡回展



宗谷の昭和 100 年
- 戦争の時代から復興へ -
The 100 years of Shouwa in Soya.

【会期】2025 8/1(金)～9/30(火) 9:00-17:00
【休館日】休館日：休館期間 8/1・8/2, 12/25、祝日・休館日
【会場】利尻町立博物館

【主催】宗谷管内学芸職員連絡協議会・稚内市・礼文町・利尻町・枝幸町・各教育委員会
【後援】北海道開発局稚内開発建設部
【協賛】オホshimaグループ・オホshimaグループ教育委員会（TEL: 0163-40-3333）

2025 年は太平洋戦争終戦から 80 年、「昭和 100 年」の節目にあたります。戦後 80 年が経過し、戦争の記憶が次第に薄れつつある中、宗谷地方の戦争の記憶・体験を次の世代に伝えるとともに、復興に立ち上がる人びとの姿を広く紹介します。



利尻の闇夜を飛ぶのは・

23

利 尻島はクマやヘビが生息しておらず、夜も安心して森に入れます。当館ではそんな利尻ならではの観察会を行っており、今年もコウモリを中心とした夜の生き物観察会を実施いたします。夜行性のコウモリは日頃なかなか島内で見かけることがないのですが、5 種がこれまでに島内では確認されており、この時期は既に出産も終わり、今年生まれのコウモリも飛び出し始めている頃です。本事業



一枚の写真

今年も 5 年に一度の国勢調査が行われます。当館所蔵の古い国勢調査の写真は、複数枚あり、写真裏の記述を照合すると、第一回（1920・大正 9 年）の時のものと考えられます。手前中央付近が当時の能越甚作沓形村長で、胸像が今も沓形港に残されています。

ではそんなコウモリの出す超音波を頼りに、その姿をみなさんとともに探すほか、利尻の夜を堪能してもらえればと考えています。といっても、森の奥深くにガサゴソはいることはないのです、どうぞご安心を！

利尻の夜の森を楽しもう ～コウモリと夜の観察会～【日時】8/23（土） 19:00～20:00（～20:30（延長もあり））。天候（雨、風など）によっては急遽中止となる場合がありますので、ご了承ください。【集合】19:00（鴛泊修景地付近の駐車場）→場所がよくわからなければお電話ください！【申込】博物館に、(1) 氏名、(2) 当日の連絡先電話番号、とともに申し込み。調査器具の制限から先着 5 名ほどになります。【持ち物】懐中電灯（手が自由になるヘッドランプを推奨）、虫よけスプレー、長袖・長ズボンなど肌が露出しない服装などを推奨。



鳥を探して

報告

＜オンデマンド普及講座で探鳥会＞オンデマンド普及講座は、従来の日時・内容固定の普及活動とは異なり、希望者のご都合・ご希望などをお聞きしながら実施する、従来にない柔軟性のより高い少人数向け講座です。6/20 は、「鳥を探そう」メニューを 4 名のグループさんたちとともに、神居地区にて実施いたしました。鳥をじっくりと見るのはこれが初めて・・・という方も多かったもので、まずは双眼鏡の使い方を出発前に確認し、双眼鏡の視野に鳥を入れる訓練を、集合場所付近をウロウロしていたハクセキレイやノビタキなどで行いました。その後、神居海岸付近まで移動しながら、鳥を探してもらいました。さらに、今回はそれぞれに図鑑もお貸しすることができたので、見つけた鳥が図鑑のどの鳥にあたるのかも、まずは自分で見つけることにもチャレンジ・・・。しかし、なかなか鳥もじっとしているわけでもないため、観察した鳥の特徴が、図鑑をパラパラとめくっているうちにどんどん失われていってしまう方もいて、「あれっ、たしか喉に赤い色があったようなんだけど・・・背中の色はどんなだったけ??」と、鳥の特徴を瞬時に覚えることの難しさも十分堪能していただけたようでした。当初は 5 種ぐらい観察

できればよいかなと思いつつも、1 時間程度の散策で 13 種の野鳥を見つけることができました。「双眼鏡、買いたいです!」と感想を述べてくれた方もいて、鳥を見る楽しみを少しでもお伝えすることができたかなと感じた講座となりました。

掲示板

リイシリのご購読・閲覧

博物館のホームページにて、最新号のほか、過去 2 年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ご利用ください。ネット環境がない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せ願います。

編集後記 某ラジオ局のご当地ソング紹介コーナー担当から、「利尻慕情」のレファレンスが当館に寄せられました。「なかなか資料がなくて・・・」とのことでしたが、利礼航路で何度も聞き馴染んだ世代としては本曲を紹介していただけること自体がとてもうれしく、当館で近年たまたま調査もしていたので、早速情報提供させていただきました! (ま)

8月の休館日

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8/18 はメンテナンスのため休館日となります。それ以外の 8 月の月曜日は臨時開館日となります。